

消防大会の開催にあたって

中原消防団団長 大谷 正勝



「私たちの町は自らの手で守る」という郷土愛の信念に基づき、第36回中原消防団消防大会が開催され、悪天候の中、多勢の皆様方より熱いご声援をいただき、心より感謝申し上げます。

本大会は消防団としての消防技術の向上はもとより、大会を目標として、各分団の団員が長期間に渡り、昼夜を問わず各種の訓練を重ねてき

たことに依り、培われた団結力に対して、多大な成果があったと考えております。

我々が目標としている地域の防災に貢献するためには日々、絶えることのない団結力と技術の持続性が求められています。

今後共、署の指導もいただき、今迄以上に消防団として各種多様な研鑽を重ねることにより、中原区の防災の中核としての役割を果たすため努力する所存です。

地域の方々におかれましては、より一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

第36回中原消防団消防大会を終えて

中原消防署署長 本田 義雄



中原消防団員の皆様、迎えて36回目の消防大会の開催誠にお疲れさまでした。

まれに見る豪雨の中での大会になりましたが、それをものともせず、最後まで全力を尽くす団員の皆様の姿に、感動すら覚えました。

中原消防団の実力・技術の高さは、私も過去の市の大会を何回か拝見して理解して

「一般競技の部」ホース延長・伝令・収納

第一位 大戸分団

- 第一位 大戸分団 工藤由美雄 団員
- 第二位 中原分団 草間茂人 団員
- 第三位 玉川分団 国友英壯 団員

「今回で、延長競技が二回目の巻き担当で参加になる私ですが、スタート砲が鳴り、競技が始まりチーム三人が日頃の訓練通りに無事にゴール出来ましてとても良かった。」 (工藤由美雄) 写真 左より、工藤団員、草間団員、国友団員



「一般競技の部」防火衣着衣

第一位 大戸分団

- 第一位 大戸分団 小島 徹 団員
- 第二位 中原分団 住吉分団
- 第三位 住吉分団



「スピードと現実性の相反する事を追求し両立する。それが、すべてにつながると思いました。また、この経験に次に継承していきたいと思いたいと思います。大会関係者、ならびにご指導を頂きました皆様、ありがとうございます。ごさいます。」

小型ポンプ操法の部 準優勝 玉川分団

操法の部で準優勝した玉川分団の選手を改めて紹介します。指揮者は岩橋ふとん店の岩橋団員、1番員は所表具店の所団員、2番員は若島工務店の高橋団員、3番員はコジマライスの高橋(恒)団員です。



列伝・分団の人気者



玉川分団 鈴木 幸三 班長

鈴木畳店は平間班器具置場の斜め前という地の利を生かして出勤、訓練はほぼ皆勤。若い頃は本団から「また鈴木君か」とあきれられたほど操法の選手、指揮者を引き受

昨年雪辱を期して3月から猛特訓を開始。選手から分かりやすいと好評の新指導法により順調に上達し、終盤視察に訪れた大谷団長の「各分団巡って見て、実力は紙一重」の激励に発奮。大会当日の荒天も予想してあえて泥水の中でのホース巻きなどの対応も奏効し、2年ぶりの準優勝となった。大会終了後の打上げでは「晴れていたら優勝したかも」という指導部長の強気の発言や、「来年はリベンジのため1番員をやりたい」という越知団員の再登板志願も飛び出すなど意気軒昂。ただし5位、2位、5位、2位ときて来年は?! がんばれ! 玉川分団!

審査長講評

第36回中原消防団消防大会 審査長 田中 実



本大会は36回を重ねる消防大会の中で、最も悪天候のなか、競技がおこなわれました。競技に参加した団員を始め、審査を担当して頂いた本田署長、清澤副署長、各分団の幹部審査員の方々

の行動と厳正な審査に当たって頂いた皆様に心から感謝申し上げます。今回審査長という立場で初めて参加させて頂き、一般競技のゴール場面で順位決定の判定がスムーズに決定されず、着順に課題を残しました。次年度大会には応援頂いている来賓の皆様にも明確に判るような進行運営に努めたと思います。

選手宣誓

大戸分団 鹿島 連部長

今年の大会は自分にとって非常に思い出に残るものとなりました。今までの団の活動の中で小型ポンプ操法を含めたいくつかの競技に出場したことはありましたが、選手宣誓は初めてで思っ



た以上に緊張しました。何人かの団員とのチームプレーとちがって、自分に自信を持って行動しなければならぬということを感じながら無事行なうことができました。余談ですが、選手宣誓の緊張感がそのあとの小隊訓練に良い影響を与えたことはいうまでもありません。

「一般競技の部」 応急救護

第一位 中原分団

大橋貞幸 団員

「一昨年、応急救護の選手をして今年に気持ち的に余裕があり、あわてないでできました。」

小杉政雄 団員

「ちいむわあくはいつものことです。」

小原唯和 団員

「大橋君や患者役の小杉さん、指導者それにみなさんのおかげです。」

第二位 大戸分団
第三位 玉川分団



「一般競技の部」 小隊訓練

優勝 大戸分団

指揮者

大戸分団 鹿島 連部長

今回の大会で初めて小隊訓練の指揮者を経験させて頂いたことは、消防団の一員としての自分をあらためて自覚するいい機会となりました。言うまでもなく消防団は日頃からの訓練によって、規律を守り迅速かつ的確な行動を身につけることが要求されます。その成果を消防大会という場で二十四名の団員と共に披露することができたことで、消防団の規律の大切さを再



認識しました。ご指導いただいた幹部の方々へ感謝申し上げますと共に、この経験を今後の活動に生かしていければと思います。

地域の消防・防災紹介② 下沼部家庭婦人消防隊

「家庭婦人消防隊としての役割」

隊長 白井節子

「地域に精通している家庭婦人消防隊」として、消防小屋の掃除という名目の会議を隔月で行い、情報の共有・連携を心がけています。

以前は、男性消防団員と同じように訓練し、大会にも参加したと先達より聞いていますが、昨今は、「家庭から火を出さない」「自分たちの地域は自分達で守る。」を第一の責務とし、一人でも多くの隊員発掘に尽力しています。



残念ながら現在、玉川分団には婦人消防団員は在籍していませんが、逸材を発掘することも併せての任務と考えています。

1月の出初式には隊を招集して参加し、6月の操法大会においては、近年は中原区全分団の応援を決め、仕事をもちながら消防団員として地域を守る皆様のための励みになればと張り切っています。今後も地域の防火活動に率先して協力し、更なる活動を展開していきたいと思っております。これからもご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

水防訓練を実施

平成19年5月29日(火) 於:上丸子天神町先 多摩川河川敷



◀ 応急処置訓練
(心肺蘇生法及び
AEDによる応急手当)



土のう作成▶
及び積土のう応用技法



◀ 消防ヘリ
そよかぜ1号による
水難救助訓練



消防団のしくみ、器具等の説明



小型ポンプ操法の実演



防火衣を体験

小学校に消防団がやっつてきた！ 玉川小・四年生の授業に訪問

6月27日

女性団員が普通救命講習の指導

4月25日 中原区役所において普通救命講習会が開催されました。当日は朝から雨が降る中、一般市民47名が参加、中原女性消防団員6名は署員と一緒に準備や受付などを行い、太田救急係長の講習の後、5つのグループ

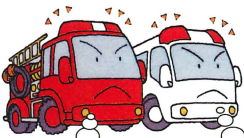


プに別れAEDを使った指導を行いました。最初はお互い緊張していましたが、つかか会場は活気にあふれる声に変わっていききました。これからも市民救命士の育成のお手伝いさせていただきます。

消防豆知識 PA連携とは？

川崎市では平成19年7月1日からPA連携がスタートします。PA連携とは、ポンプ車(Pumper)と救急車(Ambulance)との連携です。

大けがなどにより生命危険の大きな救急事故で、近くの救急車が他の場所に出場している場合は、近くの消防車がサイレンを鳴らして現場へ急行し、応急処置を行います。病院までの搬送は、従来どおり救急車で



消防車 (Pumper) の「P」 + 救急車 (Ambulance) の「A」

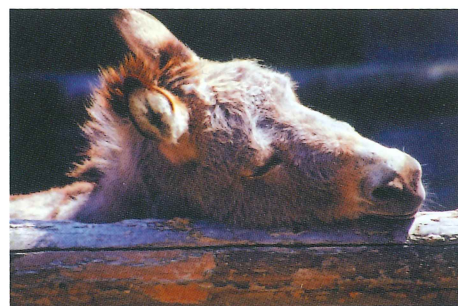
PA連携です

で行います。病院までの搬送は、従来どおり救急車で

編集後記

中原消防団広報誌「翔太」第4号をお届けします。発行にあたり、ご協力に深く感謝致します。

- | | | | | | | |
|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|--|---|
| 丸
子
分
団 | 玉
川
分
団 | 住
吉
分
団 | 大
戸
分
団 | 中
原
分
団 | 編
集
中
原
消
防
団
広
報
部 | 発
行
責
任
者
大
谷
正
勝 |
| 畑
石
井 | 若
島 | 横
山 | 田
口 | 横
山 | 鹿
島 | 井
上 |
| 昭
仁 | 学
稔 | 哲
夫 | 眞
弓 | 芳
春 | 秀
樹 | 俊
明 |
| | | | | | 三
堀 | 小
林 |
| | | | | | 野
口 | 敏
一 |



第八回
県消防協会主催美術展
「写真の部」 出展作品
田 邊 文 江 様
(丸子分団・田邊部長夫人)